

プリーズコート

特	長
用	途
荷	姿
危険情報と安全対策	
標準施工仕様	
性能試験成績表	

プリーズコートは、特殊アクリル樹脂エマルジョンを結合材として用いた水性艶有り塗料です。作業性に優れ、臭気が少なく、安全で、取り扱いが簡単です。この他、半艶の「プリーズコート#30 半艶」、3分艶の「プリーズコート#10 3分艶」があります。

1. 刷毛さばき、塗り継ぎが良好で、レベリングや粘着の問題が極めて少なく、作業性に優れています。
2. 下地への密着性に優れています。
3. 長期に亘って色彩や光沢を失いません。
4. 水性のため、火災や有機溶剤中毒の心配がなく、屋内外で安心して使用できます。

- ① 各種複層仕上げの上塗り
- ② 各種建材の表面仕上げ
- ③ 各種改装工事

プリーズコート(艶有り) 16kg石油缶、4kg缶
(標準塗坪：53~64㎡/16kg缶、13~16㎡/4kg缶)

製品の取り扱い、それぞれの安全データシート (SDS) に従ってください。
ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

(23℃)

材 料	調合 (重量比)	所要量 ^{※1} (kg/㎡)	塗回数	間隔時間 (hr)		備 考
				工程内	最終養生	
*2 プ リ ー ズ コ ー ト	100	0.25~ 0.30	2	3以上	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600~1000ml/分 パターン幅：25~30cm
*3.4 清 水	0~15	—				

- ※1. 「所要量」はロスを含みます。被塗装面に付着させる塗料の「標準塗付け量 (ロスを含まない)」は、プリーズコートで「0.22~0.24kg/㎡」となります。各材料の使用数量などを算出する際には、「所要量」を基準としてください。
- ※2. 複層仕上げの上塗りに用いる場合は所要量が0.25~0.35kg/㎡ (スプレー塗り時は、吐出量：800~1000ml/分 パターン幅：25~30cm) になります。なお、この場合の標準塗付け量は0.22~0.28kg/㎡となります。
- ※3. 清水の希釈率は、スプレー塗り時で「10~15」、ローラー・刷毛塗り時で「0~10」となります。
- ※4. 希釈率は、色目及び施工時の気温により変化することがあります。ご了承ください。
- ※5. 下地の種類により、適切な下塗材の選定が必要となります。特に押出成形セメント板・GRC板・PC部材などには、下塗材として弱溶剤形の★エスケーハイブリッドシーラー-EPO (15kgセット)、★マイルドシーラー-EPO (クリアー・ホワイト、14kgセット)、または溶剤形の★ミラクシーラー-EPO (15kgセット) をご使用ください。
- ※6. 防火認定仕様は標準塗付け量が基準となります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
注) 溶剤形の製品 (★印) については、P13からの「危険情報と安全対策」をよくお読みください。

試験項目	結 果	規定または試験方法
隠ぺい率%(白及び淡彩)	97	95以上
鏡 面 光 沢 度	83	70以上
密 着 性	100/100	スレート板上での基盤目試験結果
耐 水 性	合 格	96時間浸したとき光沢保持率が80%以上で、塗面に異常がないものとする。
耐 アルカリ性	合 格	水酸化カルシウム飽和溶液に7日間浸したとき光沢保持率が65%以上で、塗面に異常がないものとする。
耐 塩 水 性	異常なし	3%塩化ナトリウム水溶液168時間浸漬
耐 洗 浄 性	合 格	JIS K 5660 6.11 に準拠。1000回の洗浄に耐えるものとする。
耐湿潤冷熱繰返し性	合 格	JIS K 5600-7-4 に準拠 光沢保持率が80%以上で、湿潤冷熱繰返しに耐えるものとする。
促 進 耐 候 性	600時間 合格	JIS A 6909 7.19 促進耐候性試験B法に準拠。
屋 外 曝 露 耐 候 性	合 格	JIS K 5600-7-6 に準拠 12ヶ月の試験で、白亜化の等級は2以下で、割れ・はがれ・膨れ及び穴がなく、色とつやの変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。
安 全 性	消防法分類	非危険物
	有機則区分	適用外